

令和6年度

第2回 白老町地域公共交通活性化協議会会議



日 時：令和6年9月25日（水）14：00～
場 所：白老町コミュニティセンター201号室

会 次 第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議題

(1) 報告の部

報告第1号 白老町地域公共交通計画策定支援業務委託契約の締結について

報告第2号 町民意見交換会及び出張個別相談会の開催について

(2) 議案の部

議案第1号 白老町地域公共交通計画策定に向けての現況整理等について

4. その他

(1) 報告の部

報告第1号

白老町地域公共計画策定支援業務委託契約の締結について

下記のとおり、契約を締結したので報告する。

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 業 務 名 | 白老町地域公共計画策定支援業務 |
| 2 | 委 託 料 | 6, 5 1 2, 0 0 0円（うち消費税及び地方消費税5 9 2, 0 0 0円） |
| 3 | 委 託 先 | 日本データサービス株式会社 代表取締役 石原 知樹 |
| 4 | 住 所 | 札幌市東区北16条東19丁目1番14号 |
| 5 | 締 結 日 | 令和6年7月11日 |
| 6 | 委託期間 | 令和6年7月12日～令和7年3月31日 |
| 7 | 業務内容 | 白老町地域公共交通計画策定に向け、主に下記の業務を行う。
(1) 計画準備（計画策定のため実施計画書を作成）
(2) 現況交通実態調査
(3) 町民意見交換会
(4) 地域公共交通計画（案）の作成
(5) 協議会の運営支援
(6) その他、打合せ協議等 |

町民意見交換会及び出張個別相談会の開催について

下記の日程において、町民意見交換会及び出張個別相談会を開催する。

1 事業名 地域公共交通計画 町民意見交換会

(1) 日程 令和6年9月26日(木)～10月2日(水)

(2) 場所 北吉原本町生活館、萩野公民館、虎杖浜生活館、白老コミセン、社台生活館、
竹浦コミセン

※詳細は、別紙開催概要(案)・チラシのとおり

2 事業名 地域公共交通 出張個別相談会

(1) 日程 令和6年10月4日(金)～10月15日(火)

(2) 場所 萩の里会館、萩野生活館、石山萩の里町内会館、北吉原ふれあいプラザ、
竹浦ふれあい町内会館、虎杖浜公民館、いきいき4・6

※詳細は、別紙開催概要(案)・チラシのとおり

白老町町民意見交換会の開催概要（案）

1. 目的

白老町における持続可能な公共交通網の構築を目的に、各地域が持つ公共交通に関する町民目線の問題点及び課題の抽出、また町民が使いやすいまちの交通手段を考える場として、町民を対象とした意見交換会を開催する。

2. 開催日時・会場

日 時	会 場	日 時	会 場
令和 6 年 9 月 26 日(木) 10:00～12:00	北吉原本町生活館	令和 6 年 9 月 26 日(木) 13:30～15:30	萩野公民館
令和 6 年 9 月 27 日(金) 10:00～12:00	虎杖浜生活館	令和 6 年 9 月 27 日(金) 13:30～15:30	白老コミセン
令和 6 年 10 月 2 日(水) 10:00～12:00	社台生活館	令和 6 年 10 月 2 日(水) 13:30～15:30	竹浦コミセン

3. 対象者

町民を対象に自由参加（予約不要）

4. 当日の進め方（全体約 60 分を想定）

司会：白老町

内 容	時 間	詳 細
(1) 開催挨拶	5 分	白老町地域公共交通活性化協議会 会長 大黒 克己
(2) 白老町における公共交通関連の現況整理	15 分	公共交通関連の現況整理等の説明（NDS 対応）
(3) 他地域の公共交通の事例紹介	10 分	他地域の事例を説明（白老町対応）
(4) 意見交換会の実施	35 分	◆皆さんのご意見を教えてください ⇒ファシリテーター（NDS 対応） 1. 現在、どのような移動手段を使用していますか？ （車、道南バス、JR など） 2. 地域公共交通（元気号、ぐるぽん、カムイ号）の運行について、見直しが必要だと思うことはありますか？ （運行路線、運行時間帯など） 3. ガイドブックなどの内容について、どのような情報が掲載されていると便利だと感じますか？また、見た目やデザインについても、どのような改善があるとより使いやすくなると思いますか？

5. 今後の準備

・資料作成・資料印刷（NDS 対応）

白老町地域公共交通計画 意見交換会を開催します！



本町では、今年度、地域旅客運送サービスの望ましい在り方やその役割を明らかにし、持続可能な運送サービスの提供を行うことを目的とした地域公共交通計画の策定を進めております。

下記の日程にて、意見交換会を開催いたしますので、ぜひ、町民の皆さまのご意見をお聞かせください。

町民意見交換会日程

日 時		会 場
9月26日(木)	10:00～12:00	北吉原本町生活館
9月26日(木)	13:30～15:30	萩野公民館
9月27日(金)	10:00～12:00	虎杖浜生活館
9月27日(金)	13:30～15:30	白老コミセン
10月 2日(水)	10:00～12:00	社台生活館
10月 2日(水)	13:30～15:30	竹浦コミセン

※申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

白老町地域公共交通 出張個別相談会開催概要（案）

1. 目的

今年度、白老町総合保健福祉センターにおいて乗り方教室を開催したが、他の地域においても地域公共交通について、相談できる機会を設けてほしいとの要望があったことから、相談を通して地域公共交通をより身近に、そして快適に利用できるよう、下記のとおり個別相談会を開催する。なお、今年度は、地域公共交通計画の策定も進めていることから、計画策定に向けて、地域公共交通に関する意見徴収も併せて行うこととする。

2. 開催日時・会場

出張個別相談会日時	会 場
10月4日(金)14:00～15:30	萩の里会館
10月7日(月)16:00～18:30	萩野生活館
10月8日(火)14:00～15:30	石山萩の里町内会館
10月9日(水)14:00～15:30	北吉原ふれあいプラザ
10月10日(木)15:00～16:30	竹浦ふれあい町内会館
10月11日(金)16:00～18:30	虎杖浜公民館
10月15日(火)16:00～18:30	いきいき4・6

※開催時間内において、相談者の出入りは自由する。

3. 対象者

町民を対象に自由参加（予約不要）

4. 当日の進め方

- ・地域公共交通を利用する上での疑問点などを公共交通ガイドブックを用いて説明する。
- ・地域公共交通に関する課題点などを意見徴収する。

地域公共交通 出張個別相談会

「元気号は知っているけど、ぐるぽんって何?」「公共交通を利用してまちなかへ買い物に行くにはどうしたらいいのかな…」

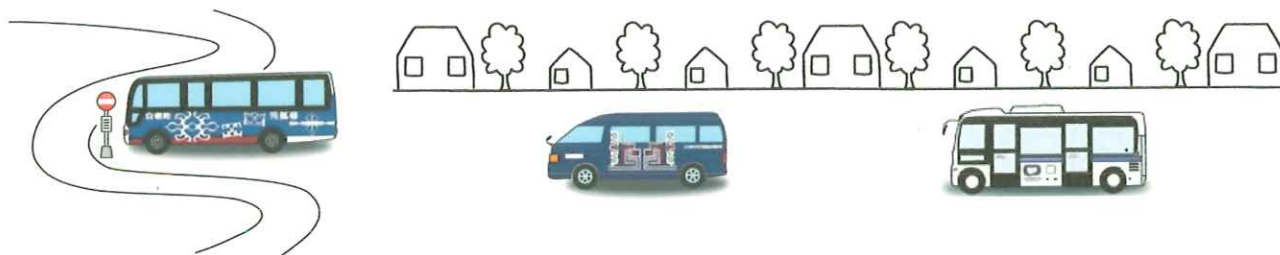
「今は自家用車があるけどいつまで乗れるのか…」「カムイ号も毎日乗ったら経済的な負担が…」など、さまざまな疑問やお悩みをお気軽に相談ください!

出張個別相談会日程

日	時	会 場
10月 4日(金)	14:00~15:30	萩の里会館
10月 7日(月)	16:00~18:30	萩野生活館
10月 8日(火)	14:00~15:30	石山萩の里町内会館
10月 9日(水)	14:00~15:30	北吉原ふれあいプラザ
10月10日(木)	15:00~16:30	竹浦ふれあい町内会館
10月11日(金)	16:00~18:30	虎杖浜公民館
10月15日(火)	16:00~18:30	いきいき4・6

※申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

※上記の時間内であれば、何時に来ていただいても構いません。出入りは、自由です。



問い合わせ先：政策推進課 都市企画グループ ☎82-8213

(1) 議案の部

議案第1号

白老町地域公共交通計画策定に向けた現況整理等について

地域の現状（人口・世帯数等）及びヒアリングなどを通じた地域公共交通の実情等について、別紙のとおり、計画策定に向け現況整理を行う。

白老町地域公共交通計画の 策定に向けて (現況整理等資料)

第2回 白老町地域公共交通活性化協議会
令和6年9月25日（水）

1. 白老町地域公共交通計画の策定について

■ 白老町地域公共交通計画の策定必要性について

- ・ 白老町地域公共交通網形成計画（以下、網形成計画）を平成29（2016）年3月に策定し、**今年度は計画推進期間の最終年度**
- ・ 令和2（2020）年度には地域公共交通に係る法律が改正され、**法改正の内容を踏まえた計画への更新・見直しが必要**
- ・ 網形成計画に則って各種施策・事業を実施してきたところであり、今後も持続可能な公共交通体系の構築に向け、網形成計画の更新・見直しを行い、**現在の町の状況を反映した地域公共交通計画（以下、交通計画）を策定する必要**

■ 網形成計画からの見直しの方向性

・ 上位及び関連計画の再整理

- ⇒ 第6次白老町総合計画（基本構想・基本計画）が令和2（2020）年6月に策定
- ⇒ まちづくり等との観点から新たに連携を図る必要がある計画等も含め、**上位及び関連計画の再整理を実施**

・ 地域概況及び地域公共交通概況の更新

- ⇒ 網形成計画の策定から8年経過しており、人口や施設等の地域概況及び地域公共交通概況にも変化が生じていることが想定
- ⇒ 現在の町の概況を交通計画に反映すべく、国勢調査等の統計資料を活用し、**地域概況等の更新を実施**

・ 網形成計画との比較検証による地域公共交通課題の再整理・抽出

- ⇒ 網形成計画で整理した内容から継続的に解決を目指すべき課題や地域情勢の変化により新たに生じている課題などを整理
- ⇒ 施策・事業の実施状況を測る目標値についても、地域公共交通に係る法律の改正内容を踏まえた再整理を実施
- ⇒ 網形成計画から変更が必要な部分と見直しが必要な部分を整理した上で、交通計画として新たに取りまとめを実施

2. 関係法令及び上位・関連計画の整理

■ 関係法令

下記の関係法令において、交通が担うべき役割や地方公共団体が行うべき施策が整理されており、交通計画の作成にあたって留意する必要がある。

法 令	概 要	交通計画での留意点
交通政策基本法	・ 交通機能の確保・向上 ・ 環境負荷の低減 ・ 様々な交通手段の適切な役割分担と連携 ・ 交通の安全の確保 ・ 地域の活力の向上	○まちづくりとその他の観点を踏まえた、施策間の相互連携
地域交通法 (地域公共交通の活性化 及び再生に関する法律)	・ 地域が自らデザインする地域の交通 ・ 地域の移動ニーズにきめ細かく対応できるメニューの充実 ・ 地域公共交通の「リ・デザイン」	○「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする地域公共交通のマスタープランの作成 ○持続可能な地域旅客運送サービスの提供 ○輸送資源の総動員による移動手段の確保 ○データに基づくPDCAサイクルの強化 ○地域の関係者の連携・協働（共創）
道路運送法	・ 道路運送の分野における利用者の需要の多様化及び高度化に的確に対応したサービスの円滑かつ確実な提供を促進 ・ 道路運送の相互的な発達を図り、もって公共の福祉を増進	○道路運送法に基づいた適切な交通サービスの提供

2. 関係法令及び上位・関連計画の整理

■ 上位計画 【第6次白老町総合計画（基本構想・基本計画）】

下記の公共交通に関する施策の考え方等を踏まえた交通計画の策定が必要である。

項 目	内 容
計画期間	令和2年度から令和9年度
まちの将来像	共に築く希望の未来 しあわせ感じる元気まち
基本目標	基本目標① 共生共創の実現 基本目標② 幸福感の醸成 基本目標③ まちの魅力向上
基本方針	基本方針1【生活環境分野】人と自然が共生した、安心して住みよい生活環境のまち 基本方針2【健康福祉分野】思いやり、支え合い、みんなが元気で暮らせる健幸のまち 基本方針3【教育文化分野】豊かな心を育み、生きがいを感じる学びのまち 基本方針4【経済産業分野】魅力と活力にあふれ、賑わいが生まれる産業のまち 基本方針5【地域自治分野】共に生き共に創る、町民主役のまち
公共交通に関する施策	基本方針1【生活環境分野】 第3部 基本計画、第4章 分野別計画 基本施策1-7 公共交通 めざす姿：交通空白地が解消し、多くの町民が公共交通を利用できるまち ■地域公共交通サービスの維持・充実 ・町民の生活交通手段の確保や高齢者等の外出機会の創出等を図るため、交通事業者等と連携しながら、利用しやすく満足度の高い、持続可能な公共交通サービスの充実に努めるとともに、積極的な情報発信等により、公共交通の利用を促進します ■生活交通の拡充 ・交通弱者の生活の足を確保するため、利便性の高いドア・ツー・ドアでの移動が可能なデマンド交通の拡充や、通院、買い物、都市間移動などが快適に行えるダイヤや経路の設定など、多様なニーズに対応した生活交通サービスの提供に努めます 基本施策4-4 観光 めざす姿：自然や歴史、食、温泉など、白老の魅力を求め、何度も訪れたいまち ■訪れやすいまちづくりの整備・充実 ・多様化する観光ニーズに応えるため、観光インフォメーションセンターを拠点とした町内の周遊性を高めるための情報発信やガイド人材の育成、交通アクセスの整備のほか、宿泊施設、飲食店、土産品店等、民間事業者の参入促進等に努めます ・また、外国人観光客の増加に備え、多言語対応やキャッシュレス化、観光地のバリアフリー等にも取り組みます

2. 関係法令及び上位・関連計画の整理

■ 関連計画①（白老町が策定するもの）

下記の関連計画の内容と連携を図った交通計画の策定が必要である。

関連計画	概 要	交通計画の留意点
第2次白老町 都市計画 マスタープラン （令和4年度～ 令和23年度）	2. 都市交通の方針 2-3 基本方針 (2)持続可能な公共交通網の形成 ①公共交通体系の整備 ②公共交通機能の充実	・ 既存公共交通網の持続に向けた、関係機関と連携・協力による利用環境の維持・改善 ・ 既存のバス路線の維持・充実に図りつつ、より広域で誰もが利用しやすい地域公共交通網の形成を検討 ・ 効率的で利便性の高い運行形態の構築 ・ 町民の自発的な意識転換を促す取組（モビリティマネジメント）による、公共交通に対する町民の関心・理解度の向上 ・ コミュニティバス等の接近がわかるロケーションシステムやMaaS等の交通に関する新技術など、国や民間等の動向を注視しながら、その活用について検討 ・ 運転免許証を返納しやすい環境づくりの構築 ・ 誰もが快適に公共交通を利用できる環境整備を促進 ・ 交流促進バスの利用促進
第2期まち・ひと・ しごと創生総合戦略 （令和2年度～ 令和6年度）	柱3 まちの創生 基本目標1 誰もが安心して暮らせるまちづくり 基本施策2 住みよい住環境の整備 ④公共交通の充実	・ 持続可能な交通手段の確保と住みよいまちづくりに寄与する公共交通網の構築 ・ バスマップの作成・配布や目的別に交通手段や乗り継ぎ乗車などの選択が容易となる運賃施策の導入等を推進 ・ ICTを活用した交通情報の発信強化 ・ MaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス：継ぎ目のない交通）の導入検討
白老町 立地適正計画 （令和4年度～ 令和23年度）	第5章 誘導施策・届出制度 (2)公共交通の充実に係る施策 ①公共交通の充実	・ 暮らしの利便性と快適性を確保する元気号の運行内容の見直し ・ 町内公共交通の利用者需要に即した新しい交通の効率的な導入 ・ バスマップの作成・配布や運賃施策などの利用促進策の実施 ・ 移動困難者における生活移動の支援策の検討 ・ 生活交通と連携した町内観光施設を周遊するバス路線の構築 ・ 町民の広域的な生活行動を支援する近隣市への広域公共交通の維持
白老町 過疎地域持続的発展計画 （令和3年度～ 令和7年度）	I 人と自然が共生した、安心で住みよい生活環境のまち（生活環境） 5 交通施設の整備、交通手段の確保（2）その対策 ア[公共交通]	・ 持続可能な公共交通サービスの充実 ・ 積極的な情報発信等による、公共交通の利用を促進 ・ 交通弱者の生活の足を確保 ・ 利便性の高いドア・ツー・ドアでの移動が可能なデマンド交通の拡充 ・ 多様なニーズに対応した生活交通サービスの提供

2. 関係法令及び上位・関連計画の整理

■ 関連計画②（白老町が策定するもの）

下記の関連計画の内容と連携を図った交通計画の策定が必要である。

関連計画	概 要	交通計画の留意点
第3期白老町 環境基本計画 （令和3年度～ 令和7年度）	第5章 施策の体系と取り組み 5-3 施策の取り組み 基本目標1【地域環境】地球を大切に し未来につなげる まちづくり ①地球温暖化防止の推進をめざ します （1）温室効果ガス削減対策の推 進・啓発	・ 公共交通機関の利用促進の推進
第4期白老町 地域福祉計画 （令和2年度～ 令和6年度）	基本目標3 福祉サービス向上の ための仕組みづくり （3）移動制約者への移動手段の 確保	・ 交通手段に制限を受ける人の移動手段を確保 ・ 移動困難者の実態把握
白老町 高齢者保健福祉計画・ 白老町介護保険事業計画 （第9期） （令和6年度～ 令和8年度）	基本目標4 生きがいづくりと社 会参加の促進 （2）日常生活支援体制整備の推 進 ②外出支援の充実	・ 介護予防・生活支援を支える外出のための交通手段については、地域支援事業 をはじめ町の事業として体制整備を実施
第2次 白老町 商業・観光振興計画 （令和4年度～ 令和9年度）	第3章 観光施策の展開 （3）具体的戦略 方針3 訪れやすいまちづくりの 整備・充実	・ 観光インフォメーションセンターを拠点とした周遊性向上の情報を発信 ・ ガイド人材の育成 ・ 交通アクセスの整備 ・ 民間事業者の参入促進

2. 関係法令及び上位・関連計画の整理

■ 北海道における関連計画①

下記の北海道における関連計画の内容と連携を図った交通計画の策定が必要である。

関連計画	交通計画の留意点
北海道総合計画 (令和6年度～ 令和15年度)	■道内外を結ぶ総合的な輸送ネットワークの構築 ・地域にとって最適な公共交通の確保に努める ・路線の維持・活性化や利用拡大に向けた取組を推進する ・通勤・通学などの利用実態や移動ニーズを踏まえた路線の最適化などの取組を推進する ・運送事業者や地域と連携した輸送の共同化・効率化に向けた取組を促進 ・MaaSの展開や交通結節機能の充実などによる交通事業者間の連携拡大など、隣接地域間の連携拡大に取り組み、施設の共同化など事業者の生産性向上を促進しながら、公共交通機関相互が緩やかな連携を図る
北海道 交通施策総合指針・ 重点戦略 (令和3年度～ 令和7年度)	■シームレス交通戦略 ・MaaS等シームレス交通の全道展開を図る ・持続的な鉄道網の確立に向けた取組を進める ・交通インフラとデジタルサービスが連動した利便性の向上を図る ・公共交通の利用定着に向けた地域全体の意識改革を図る ■地域を支える人・モノ輸送戦略 ・地域における最適な交通モードの検討を行う ■インバウンド加速化戦略 ・交通情報提供機能と案内表示等の充実を行う ・バリアフリー環境の充実を行う

2. 関係法令及び上位・関連計画の整理

■ 北海道における関連計画②

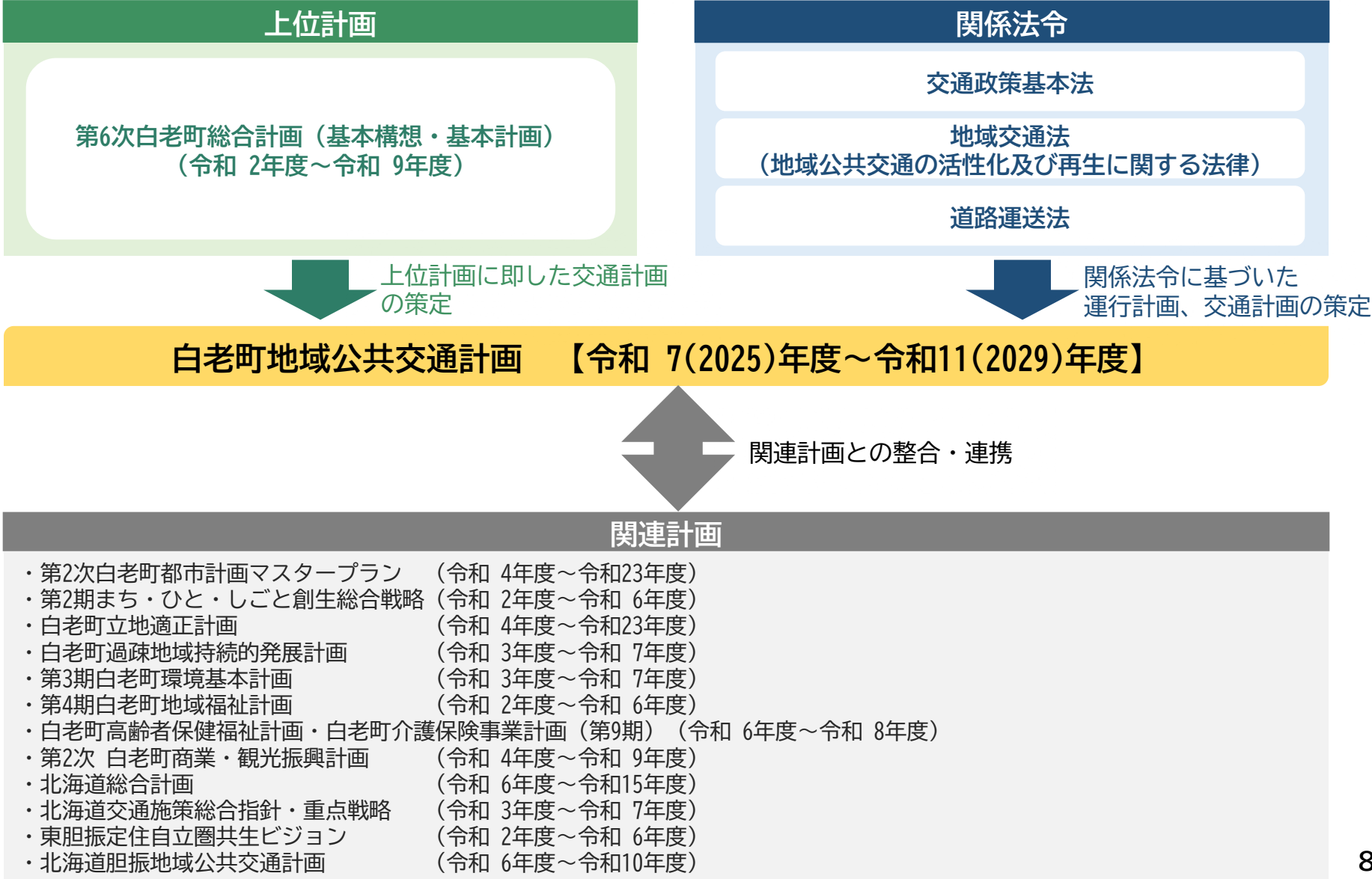
下記の北海道における関連計画の内容と連携を図った交通計画の策定が必要である。

関連計画	交通計画の留意点
東胆振 定住自立圏共生ビジョン (令和2年度～ 令和6年度)	■地域公共交通の維持確保と利用促進 ・圏域内住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通の課題について調査・検証するとともに、各種輸送機関との相互連携により、地域公共交通の確保に取り組む ○生活バス路線の維持・確保 ・乗合バス事業者等への支援を通じ、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持・確保を図るとともに、多様な交通手段の検討を行う
北海道 胆振地域公共交通計画 (令和6年度～ 令和10年度)	■持続可能な公共交通の維持確保 ・関係する市町と交通事業者による協議を活発化させ、各市町から交通事業者への支援のあり方の検討や人材確保に取り組み、持続可能な公共交通ネットワークの維持確保を推進 ■幹線・広域・生活圏交通が一体となった接続性の向上 ・各交通間の接続性を確保・強化していく取組を推進 ・深刻化する路線バス・ハイヤー・タクシーなどの交通事業者における人材不足の改善に向けた各市町の取組の実施 ・各市町から交通事業者への支援のあり方について検討を進める ・各市町が独自で実施しているコミュニティ交通等の確実な維持確保に取り組む ■公共交通の利用促進による持続性の確保 ・市町や交通事業者等の関係者が連携し、地域内外に向けた本地域内の公共交通の運行情報を継続的に発信していく ・さらなる利便性の向上に資する取組を推進

2. 関係法令及び上位・関連計画の整理

■ 交通計画の位置付け

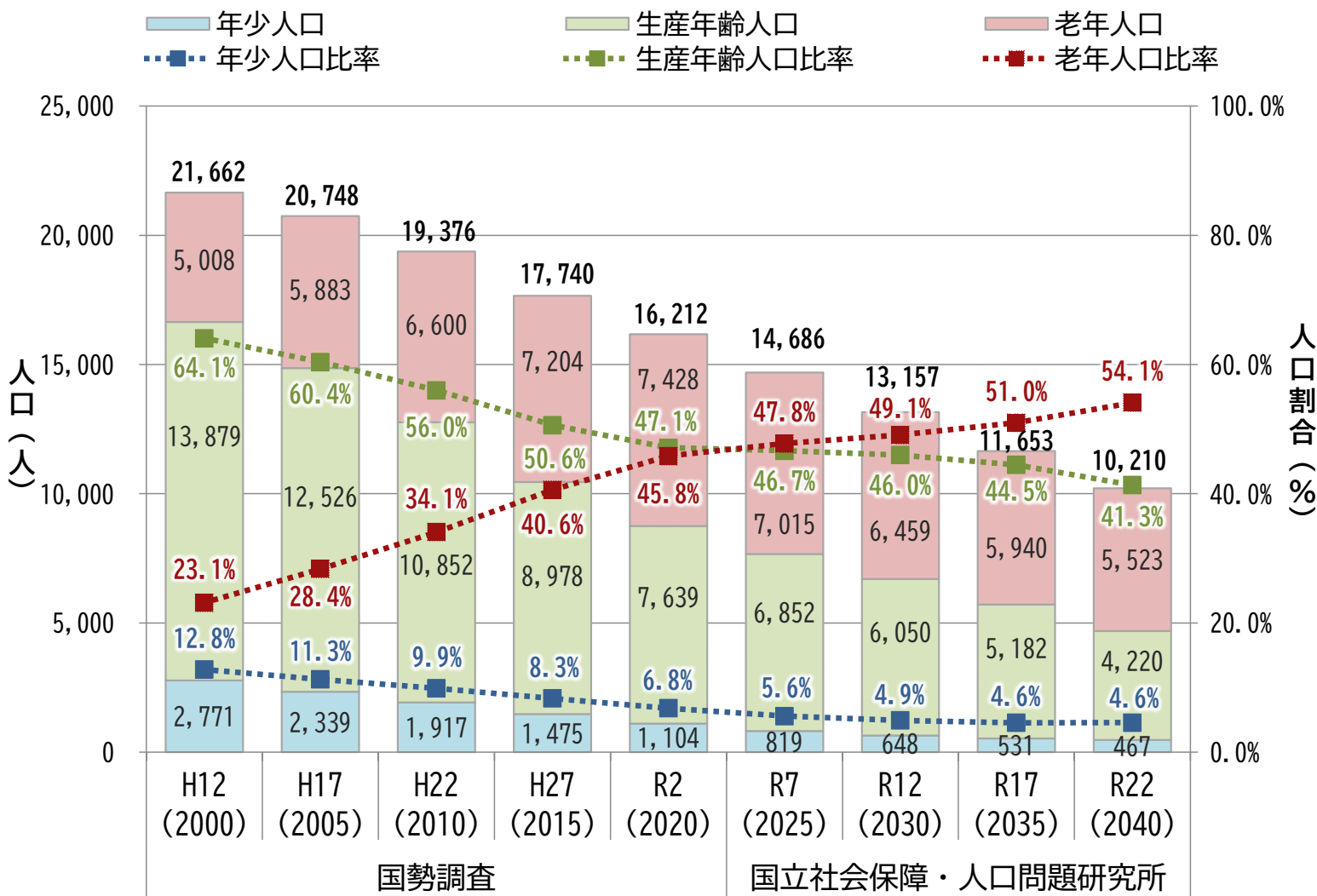
関係法令及び上位・関連計画の内容を踏まえ、下記のように交通計画を位置付ける。



3. 白老町の地域概況

■ 人口動態

・人口減少及び少子高齢化、生産年齢人口の減少の継続



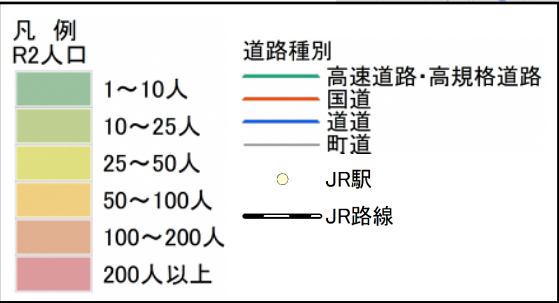
※国勢調査：年齢不詳の掲載は除く

3. 白老町の地域概況

■ 人口分布（R2年度）

・人口は市街地周辺に集中しているが、各地区にも一定の人口が見受けられる

地区別		R2人口 (人)
白老鉄南	大町	910
	東町	1,009
	日の出町	699
	高砂町	630
	本町	224
白老鉄北	栄町	833
	川治	986
	緑町	18
	陣屋町	21
	緑丘	754
	未広町	1,039
	若草町	178
	字白老	131
字社台	字社台	708
字石山	字石山	889
字萩野	字萩野	2,262
字北吉原	字北吉原	1,683
字竹浦	字竹浦	1,921
字虎杖浜	字虎杖浜	1,317
合計		16,212



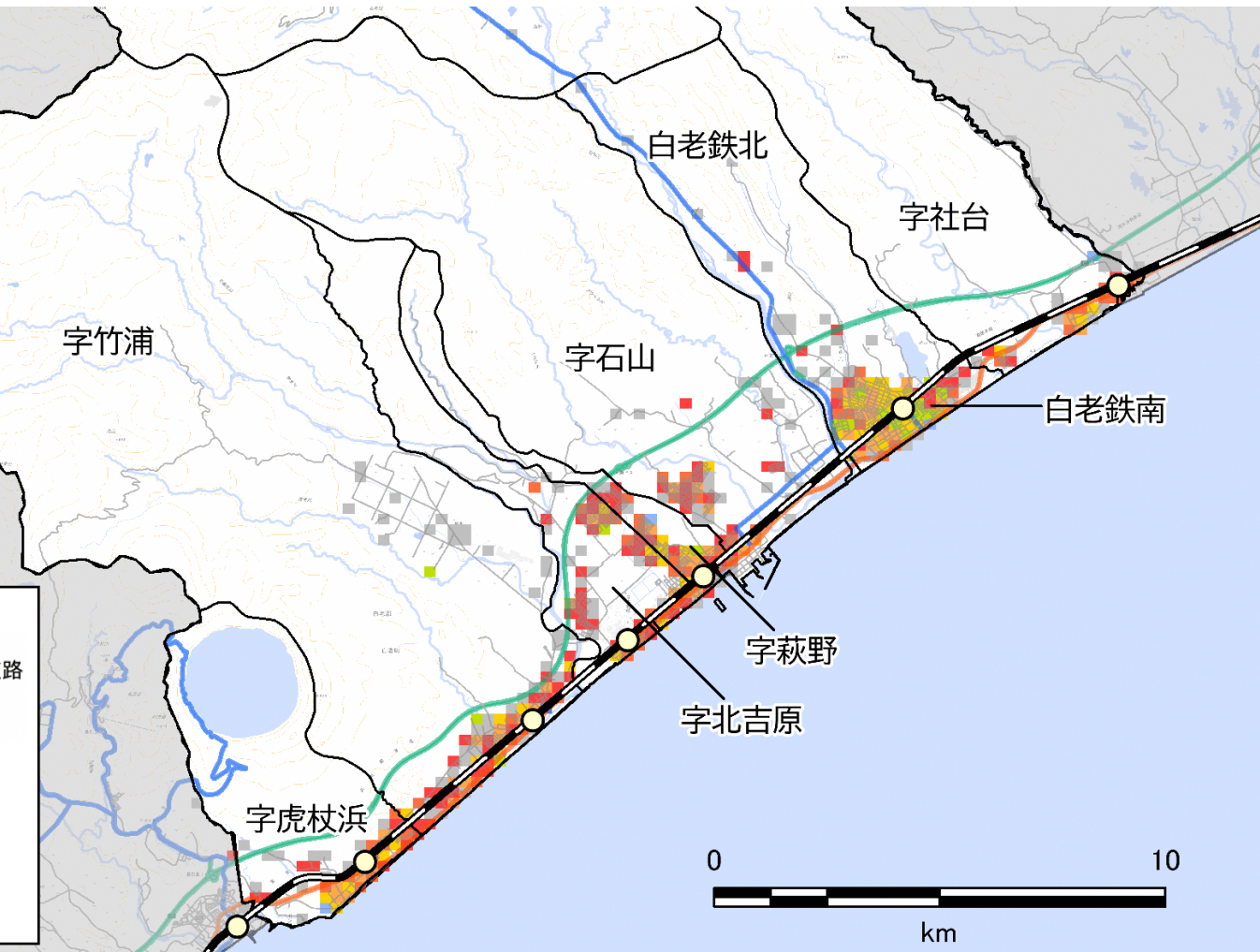
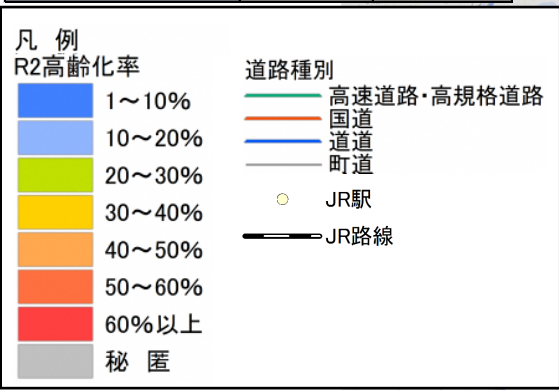
3. 白老町の地域概況

■ 高齢者分布（R2年度）

- ・各地区で高齢化率が高いエリアが多く見受けられる
- ・郊外部のほとんどの地区が町全体の平均高齢化率を上回っている

地区別		R2高齢者数 ※65歳以上 (人)	R2高齢化率 (%)
白老鉄南	大町	330	36.3%
	東町	366	36.3%
	日の出町	303	43.3%
	高砂町	279	44.3%
白老鉄北	本町	91	40.6%
	栄町	359	43.1%
	川沿	390	39.6%
	緑町	11	61.1%
	陣屋町	10	47.6%
	緑丘	283	37.5%
	末広町	392	37.7%
	若草町	77	43.3%
字社台	字白老	82	62.6%
	字社台	282	39.8%
	字石山	479	53.9%
	字萩野	1,159	51.2%
	字北吉原	888	52.8%
	字竹浦	1,042	54.2%
	字虎杖浜	605	45.9%
	合計	7,428	45.8%

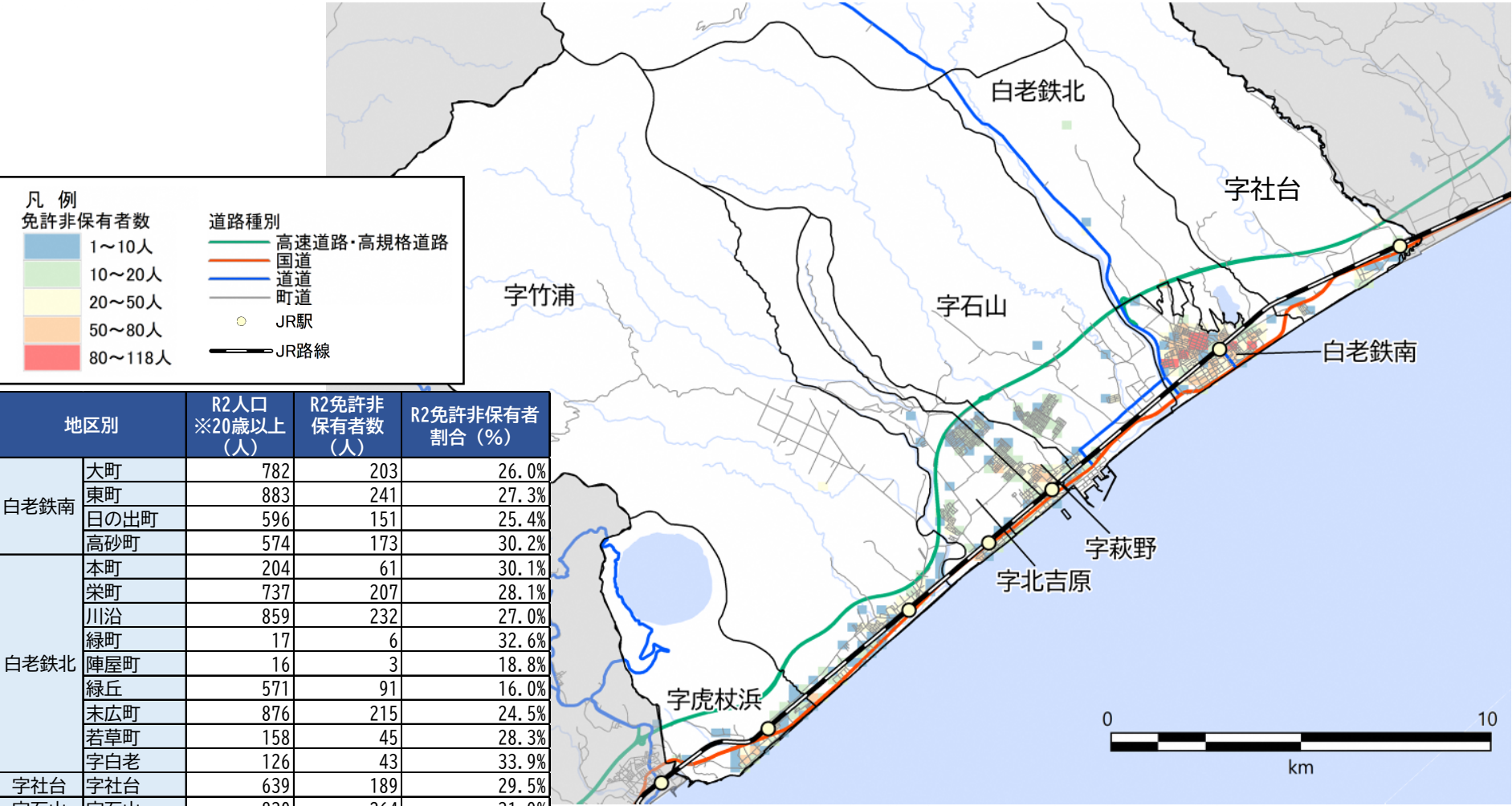
※赤字は町全体の平均高齢化率（45.9%）を超えるもの



3. 白老町の地域概況

■自動車運転免許非保有率の分布（R2年度）

・運転免許非保有者は市街地に集中しているが、各地区にも点在している



地区別		R2人口 ※20歳以上 (人)	R2免許非 保有者数 (人)	R2免許非保有者 割合 (%)
白老鉄南	大町	782	203	26.0%
	東町	883	241	27.3%
	日の出町	596	151	25.4%
	高砂町	574	173	30.2%
白老鉄北	本町	204	61	30.1%
	栄町	737	207	28.1%
	川治	859	232	27.0%
	緑町	17	6	32.6%
	陣屋町	16	3	18.8%
	緑丘	571	91	16.0%
	末広町	876	215	24.5%
	若草町	158	45	28.3%
字白老	字白老	126	43	33.9%
字社台	字社台	639	189	29.5%
字石山	字石山	830	264	31.9%
字萩野	字萩野	2035	596	29.3%
字北吉原	字北吉原	1550	479	30.9%
字竹浦	字竹浦	1785	563	31.5%
字虎杖浜	字虎杖浜	1182	344	29.1%
合計		14,420	4,106	28.5%

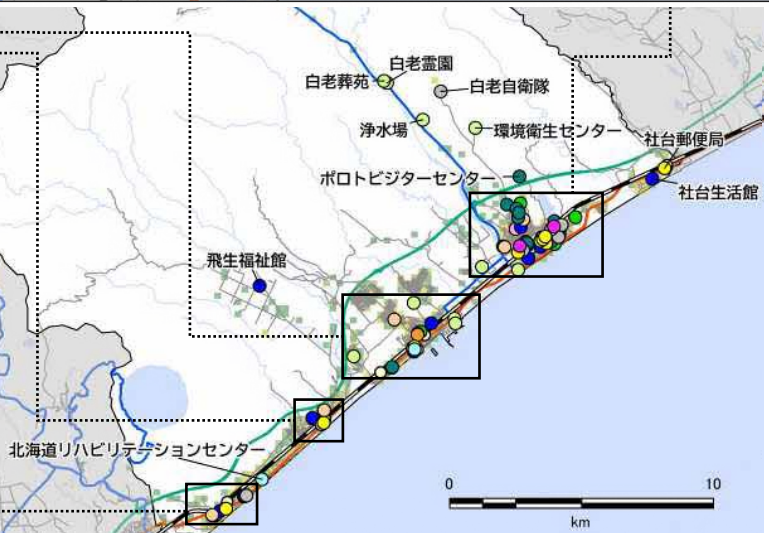
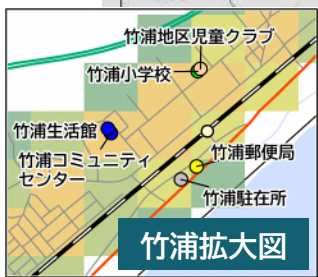
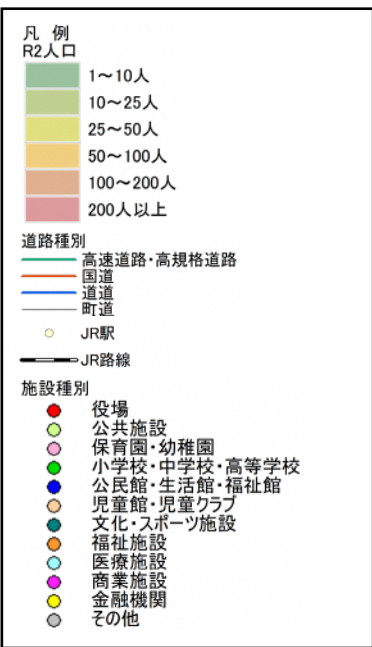
出典：R2運転免許保有者数（警察署）、R2国勢調査（総務省統計局）、
地理院地図（国土地理院）

■ 施設分布

Map of Kitagihara and Kikyo expansion area showing various facilities and transportation routes. The map includes labels for:

- 萩の里自然公園センターハウス
- 萩野児童館
- 萩野小学校
- 萩野地区児童クラブ
- 子ども発達支援センター・ひだまり
- 白翔中学校
- 萩野生活館
- 消防本部・消防署
- 港湾事務所
- 北吉原ふれあいプラザ
- 萩野郵便局
- 萩野交番
- 生田医院
- はまなす保育園
- 萩野公民館
- 北吉原はまなすスポーツセンター
- 北吉原本町生活館

北吉原・萩野拡大図



13

3. 白老町の地域概況

■ 白老町地域公共交通網の概況

公共交通機関の整理

- ・ 地域循環バス「元気号」及び交流促進バス「ぐるぼん」は定時定路線で運行しており、町内間の移動を担っている
- ・ デマンドバス「カムイ号」は定時定路線の運行ではカバーできないエリアや市街地への移動を担っている
- ・ 町外への広域的な移動は道南バスやJRが担っている

運行主体	路線名	凡例	区間	運行曜日
道南バス	登別苫小牧線	—	自 苫小牧市立病院前 至 登別温泉	毎日
	高速おんせん号（※完全予約制）	—	自 札幌駅前 至 足湯入口	毎日
	高速はやぶさ号（※完全予約制）	—	自 新千歳空港（国内線・国際線） 至 室蘭観光協会前	毎日
	高速登別温泉エアポート号（※完全予約制）	—	自 新千歳空港（国際線） 至 室蘭観光協会前	毎日
		—	自 新千歳空港（国内線・国際線） 至 足湯入口/登別温泉	
	高速白鳥号	—	自 札幌駅前 至 室蘭観光協会前	毎日
	高速蘭東ライナー号	—	自 札幌駅前 至 東室蘭駅東口	土日祝
		—	自 札幌駅前 至 室蘭駅	
白老町	地域循環バス「元気号」	鉄南線	自 町立病院前 至 臨海温泉	月～土
	交流促進バス「ぐるぼん」	市街地循環便	自 白老駅前 至 白老駅前	火～日
		萩野・社台便	自 萩野公民館前 至 萩野公民館前	火～日
	デマンドバス「カムイ号」	社台区域	自 区域内停留所（社台駅前等） 至 まちなか停留所	月～土
		石山・萩野鉄北区域	自 区域内停留所（青葉町等） 至 まちなか停留所	月～土
		北吉原・萩野鉄北区域	自 区域内停留所（あけぼの団地等） 至 まちなか停留所	月～土
		竹浦・虎杖浜区域	自 区域内停留所（白老観光バス等） 至 まちなか停留所	月～土
		普通列車	自 苫小牧駅/千歳駅/札幌駅 至 室蘭駅/東室蘭駅/長万部駅	毎日
			自 札幌駅 至 函館駅	毎日
JR北海道	JR室蘭本線	特急 北斗	自 札幌駅 至 室蘭駅	毎日
	JR室蘭本線	特急 すずらん	自 札幌駅 至 室蘭駅	毎日

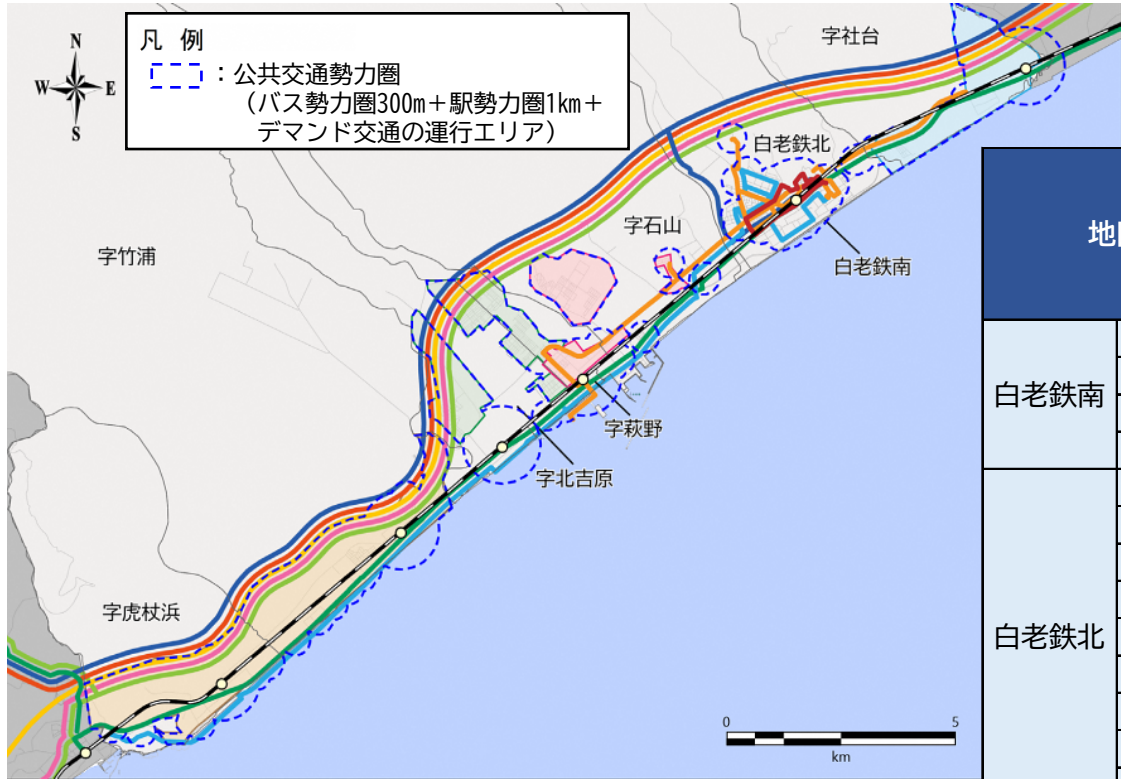


3. 白老町の地域概況

■ 白老町地域公共交通網の概況

・町内を網羅的に運行しており、何らかの公共交通サービスを利用できる環境である

公共交通の勢力圏の整理



※【公共交通勢力圏】
⇒バス停から半径300m、鉄道駅から半径1kmの圏域に加え、
デマンド交通の運行エリアを含む範囲

※【公共交通勢力圏人口・割合】
⇒地区の人口と公共交通カバー圏域に含まれる人口から算出した、
公共交通を利用しやすいと考えられる方の割合

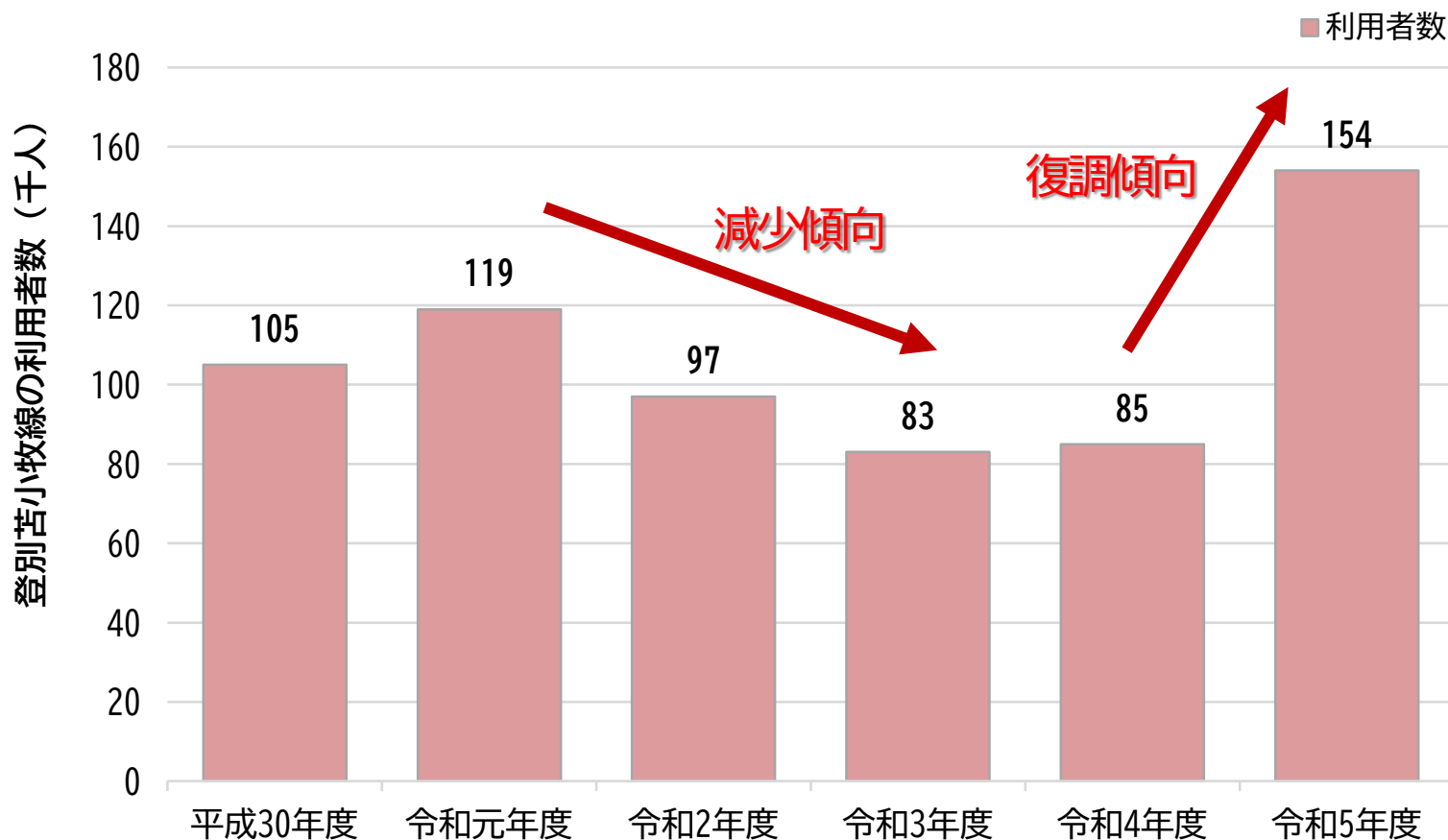
地区別		R2人口 (人)	公共交通勢力圏 (バス勢力圏300m+駅勢力圏1km)		
			公共交通 勢力圏人口 (人)	公共交通勢力圏 人口割合	
				地域別	地区別
白老鉄南	大町	910	910	100.0%	87.0%
	東町	1,009	921	91.3%	
	日の出町	699	538	77.0%	
	高砂町	630	457	72.5%	
白老鉄北	本町	224	224	100.0%	88.9%
	栄町	833	732	87.9%	
	川沿	986	818	83.0%	
	緑町	18	9	50.0%	
	陣屋町	21	3	14.3%	
	緑丘	754	660	87.5%	
	末広町	1,039	1,039	100.0%	
	若草町	178	178	100.0%	
	字白老	131	56	42.7%	
字社台	字社台	708	671	94.8%	94.8%
字石山	字石山	889	783	88.1%	88.1%
字萩野	字萩野	2,262	2,080	92.0%	92.0%
字北吉原	字北吉原	1,683	1,626	96.6%	96.6%
字竹浦	字竹浦	1,921	1,785	92.9%	92.9%
字虎杖浜	字虎杖浜	1,317	1,230	93.4%	93.4%
合計		16,212	14,720	90.8%	90.8%

3. 白老町の地域概況

■ 白老町地域公共交通網の概況

- ・ R2年度から、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)等の影響により、利用者数は減少傾向
- ・ R4年度以降は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の緩和に伴い、インバウンド需要が回復し、利用者数は復調傾向

道南バス（登別苦小牧線）の利用者数の整理

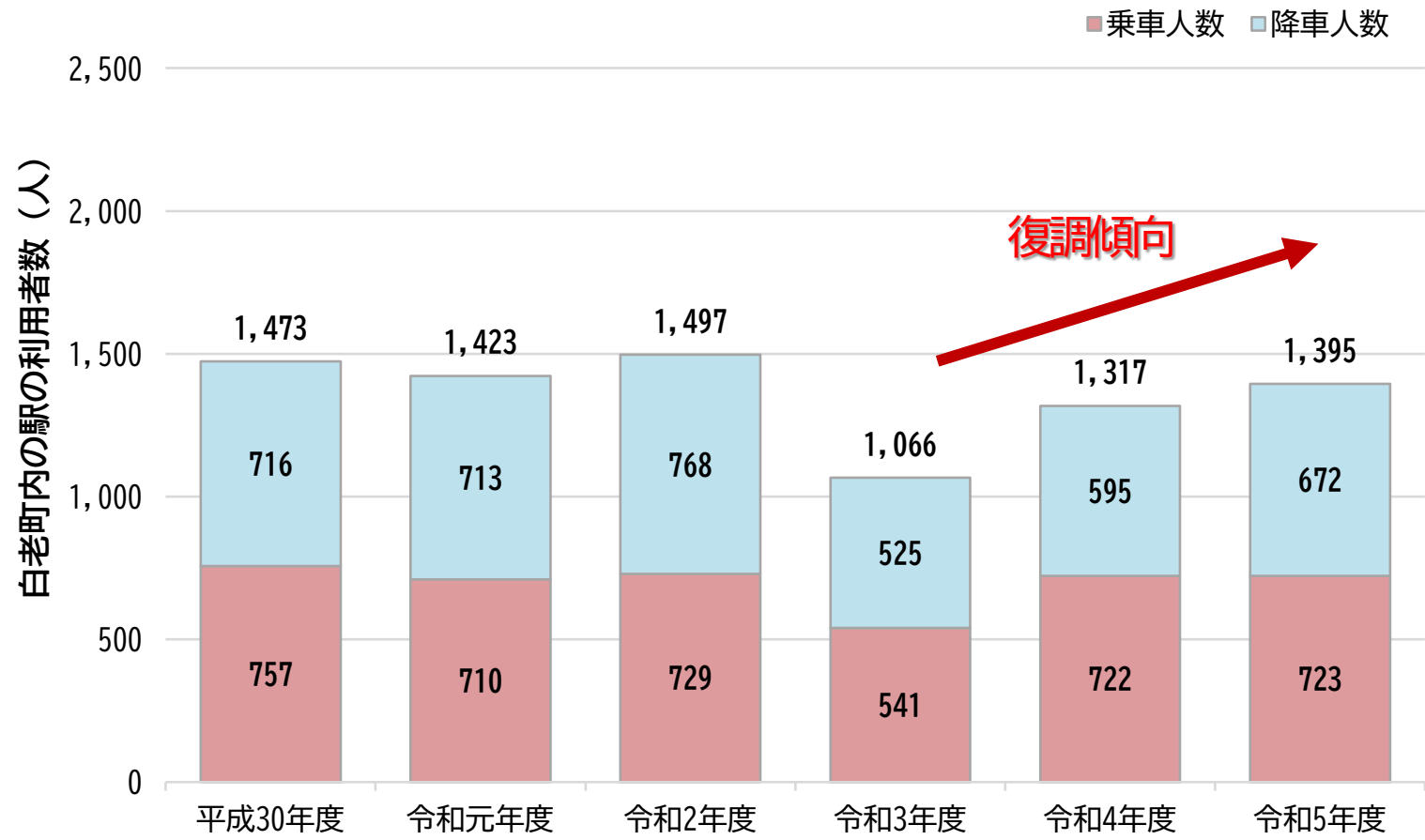


3. 白老町の地域概況

■ 白老町地域公共交通網の概況

- ・ R2年度から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受けるはずが、ウポポイの開設を見据え特急列車の停車本数が増えたことから、R2年度の利用者数は維持された
- ・ 一方で、R3年度から再び新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受け、白老町内の駅の利用者数は減少
- ・ R4年度以降は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の緩和に伴い、インバウンド需要が回復し、利用者数は復調傾向

白老町内の駅の利用者数の整理

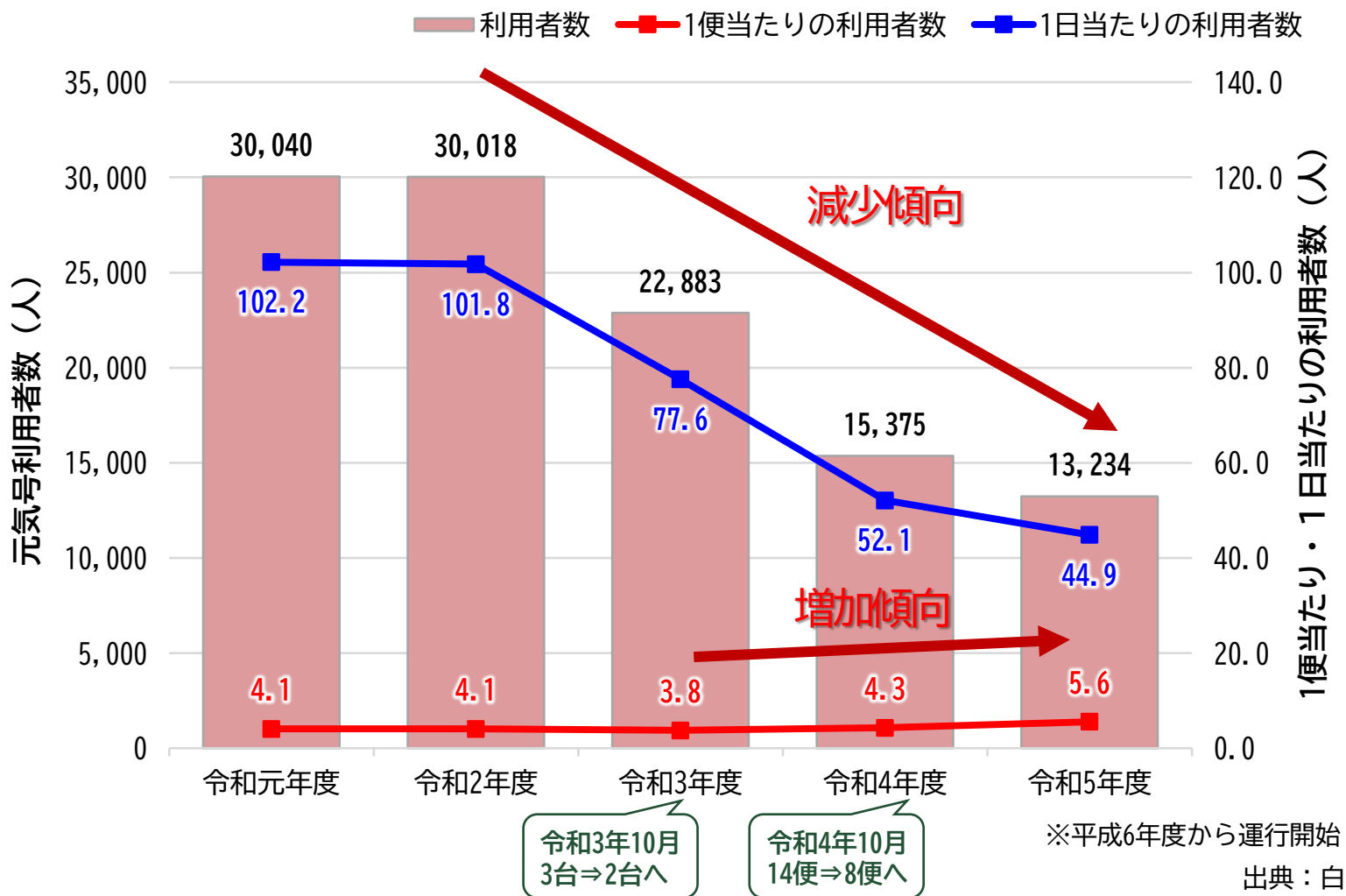


3. 白老町の地域概況

■ 白老町地域公共交通網の概況

- ・ 運行便数の減便等に伴い、利用者数は減少しているが、1便あたりの利用者は減便前より増加していることから、ニーズに合わせた運行形態への移行が図られている
- ・ ぐるぽんやカムイ号の利用者数が年々増加していることから、これまで元気号を利用してた方々が、ぐるぽんやカムイ号に転換したと考えられる

地域循環バス《元気号》の利用者数の整理



3. 白老町の地域概況

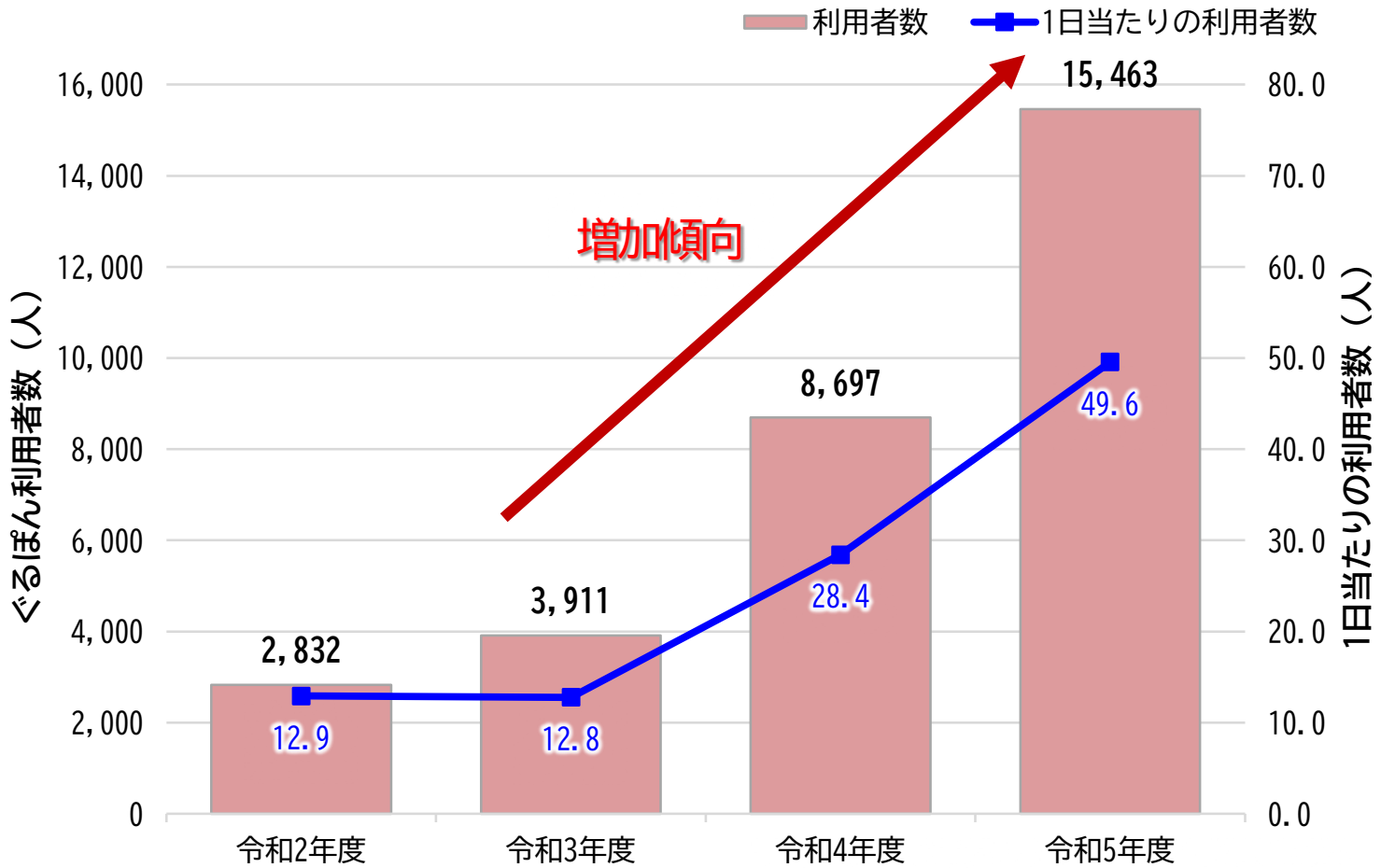
■ 白老町地域公共交通網の概況

- ・ R2年度の運行開始以降、町民への利用方法のレクチャーを実施したことで、ぐるぽんの利用者数は増加傾向
- ・ 元気号からの転換者が多くなったため、1日当たりの利用者数は増加傾向

交流促進バス《ぐるぽん》の利用者数の整理

【令和5年度の1日当たりの利用者数・1便当たりの利用者数】

	1日当たりの利用者数（人）	1便当たりの利用者数（人）
萩野・社台便	19.3	4.3
市街地循環便	30.3	1.8



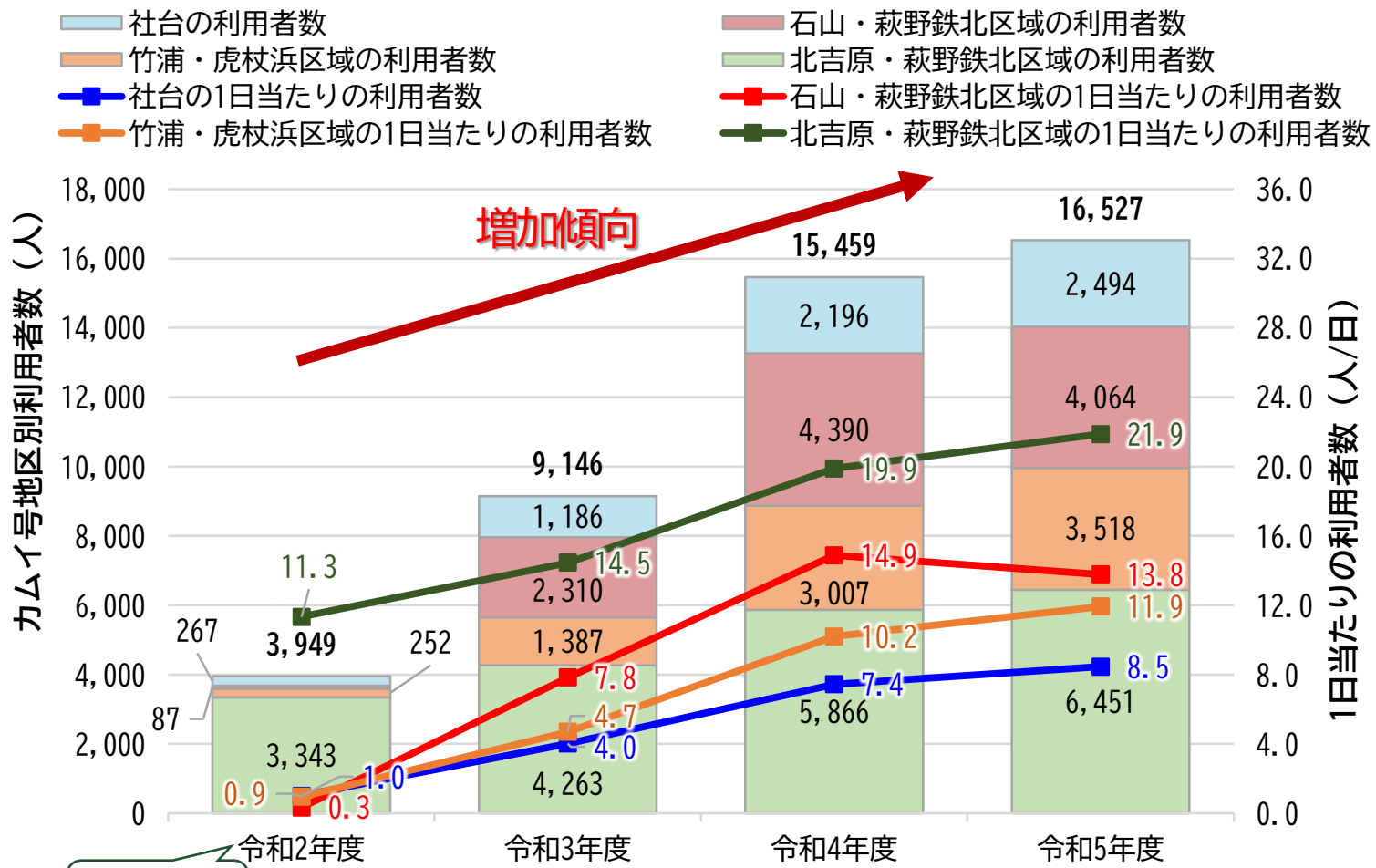
※令和2年度から運行開始

3. 白老町の地域概況

■ 白老町地域公共交通網の概況

- ・ R2年度の運行区域の拡大以降、運行便数の増便や町民への利用方法のレクチャーを実施したことで、カムイ号の利用者数は増加傾向
- ・ 元気号からの転換者が多くなったため、石山・萩野鉄北区域を除く運行区域の1日当たりの利用者数は増加傾向

デマンドバス《カムイ号》の利用者数の整理



令和2年度中
1台⇒4台へ

※平成29年度から運行開始、令和2年度から運行区域拡大

出典：白老町

4. 地域の移動ニーズ等の整理

■ 実施目的

白老町地域公共交通計画の策定に向け、町内公共交通の現状把握や関係者の町内公共交通に対する考え方などの整理を目的として、ヒアリング調査を実施した。

■ ヒアリング結果

【ヒアリングの視点】実績データでは読み取れない実情等を中心にヒアリングを実施

ヒアリング対象	結果概要
道南バス株式会社	○ 路線バス、地域循環バス《元気号》 ・運転手などの人手不足の深刻化に対応するため官民と連携 ・路線バスと元気号の運行時間帯の重複を考慮し、所要時間の短縮・効率化を図った運行を継続的に検討してほしい ・R6年4月から緑泉郷空港線が全便廃止となったことで、緑泉郷空港線の利用者が登別苫小牧線に移行している
白老観光バス株式会社	○ 交流促進バス《ぐるぼん》 ・利用者の増加に伴い、萩野・社台便の運行が遅延しており、運行内容の見直しを検討してほしい ・外国人を含む観光客の利用も多くなっている
白老交通株式会社	○ デマンドバス《カムイ号》 ・運転手が高齢化している ・利用者の増加に伴い、予約等の対応で事務、運転手ともに負担が生じている ・昼間の運行（11時台）に余裕がないため、運行内容の見直しを検討してほしい ○ タクシー ・タクシーは、「PayPay」、「au PAY」、「クレジットカード」に対応している ・観光客のタクシー利用も多く、白老駅前から「界 ポロト」、「リブマックス」、「ウポポイ」までの移動や、町外では洞爺湖町や札幌などへ移動している
白老駅	・コインロッカーを利用する来客者のために、列車到着からコインロッカーに荷物を預けた後に、ぐるぼんに乗車できるような接続時間を検討することが望ましい ・駅員の従来の業務のほかに、コインロッカーやバス停、観光案内所などへの案内を口頭で対応している ・白老駅前広場にある支柱や停留所までの足元にバス乗り場の案内標示を設置してはどうか

4. 地域の移動ニーズ等の整理

《町民意見交換会の開催》

■ 開催目的

白老町における持続可能な公共交通網の構築を目的に、各地域が持つ公共交通に関する町民目線の問題点及び課題の抽出、また町民が使いやすいまちの交通手段を考える場として、町民を対象とした意見交換会を開催する。

■ 開催日時・会場

日 時	会 場	日 時	会 場
令和6年9月26日(木) 10:00～12:00	北吉原本町生活館	令和6年9月27日(金) 13:30～15:30	白老コミセン
令和6年9月26日(木) 13:30～15:30	萩野公民館	令和6年10月2日(水) 10:00～12:00	社台生活館
令和6年9月27日(金) 10:00～12:00	虎杖浜生活館	令和6年10月2日(水) 13:30～15:30	竹浦コミセン

■ 開催内容

現況交通実態調査、関係事業者のヒアリング調査等では把握しきれない詳細な意見・要望を把握

■ その他

意見交換会終了後、より細かな課題や要望を把握するため、地域公共交通の出張個別相談会を開催する。

日 時	会 場	日 時	会 場
令和6年10月 4日(金) 14:00～15:30	萩の里会館	令和6年10月10日(木) 15:00～16:30	竹浦ふれあい町内会館
令和6年10月 7日(月) 16:00～18:30	萩野生活館	令和6年10月11日(金) 16:00～18:30	虎杖浜公民館
令和6年10月 8日(火) 14:00～15:30	石山萩の里町内会館	令和6年10月15日(火) 16:00～18:30	いきいき4・6
令和6年10月 9日(水) 14:00～15:30	北吉原ふれあいプラザ		

5. 白老町地域公共交通計画の策定に向けた検証等

■ 網形成計画の施策の検証①

・達成された方向性及び施策については、再整理が必要である。

基本的な方向性に基づく施策及び実施状況等	今後の方向性
方向性①：暮らしの利便性と快適性を確保する元気号の運行内容の見直し	
施 策① 地域循環バス「元気号」における路線及び時刻表の見直し ・網形成計画の策定以降、地域循環バス《元気号》における路線及び時刻表の見直しを実施している ・平成28年度は町内7路線（18便）に対し、令和4年10月以降からは町内1路線（8便）で運行している	【方向性・施策の継続実施】 ・毎年度、細かな見直しを図り運行を継続 ・運行形態の将来的なあり方を検討
方向性②：町内公共交通の利用者需要に即した新しい交通（デマンド型交通等）の効率的な導入	
施 策② 町内迂回区間における定時定路線と予約運行型を組み合わせた新たな公共交通形態の導入 ・平成29年5月から北吉原区域に予約運行型のデマンドを導入した ・また、令和2年5月から地域循環バス《元気号》の運行内容見直しに併せて、予約運行型のデマンドの対象エリアを拡大し、4区域（社台区域、石山・萩野鉄北区域、北吉原・萩野鉄北区域、竹浦・虎杖浜区域）で運行を開始した	【方向性・施策の再整理】 ・町内迂回区間における定時定路線と予約運行型を組み合わせた新たな公共交通形態の導入が達成されたため、運行内容の改善等の観点で再整理が必要 【施策の追加】 ・運行の効率化を図るため、予約管理システムの導入を検討
方向性③：バスマップの作成・配布や運賃施策などの利用促進策の実施	
施 策③ 町内バス交通を網羅した利便性が高く使いやすいバスマップの作成・配布 ・各地域公共交通のバスマップを作成・配布し、毎年度更新を継続している ・バスマップに加え、各個人の生活行動に合わせた時刻表が作成できる「マイ時刻表」を掲載するなどの工夫を凝らした、「白老町地域公共交通ガイドブック」を作成・配布し、毎年度更新を継続している	【方向性・施策の継続実施】 ・地域公共交通の運行内容の見直しに合わせて、利用者にとって分かりやすいバスマップ及びガイドブックの内容を継続的に更新 【施策の追加】 ・利便性の向上及び利用者の定着・掘り起こしに向けて、乗り方教室及び勉強会を継続的に実施 ・観光客等に向けた、レンタサイクル「シラヴェロ」の利用者の掘り起こし ・バス利用者の利便性の向上に向けて、白老駅前広場にバス乗り場までの案内標示を設置及びデジタルサイネージを活用したスマートバス停を主要バス停に整備することにより、交通情報を発信し、利便性の向上を図る

5. 白老町地域公共交通計画の策定に向けた検証等

■ 網形成計画の施策の検証②

・達成された方向性及び施策等については、再整理が必要である。

基本的な方向性に基づく施策及び実施状況等	今後の方向性
方向性③：バスマップの作成・配布や運賃施策などの利用促進策の実施	
施 策④ 町内バス交通におけるわかりやすい運賃体系の構築 ・町内バス交通において、地域循環バス《元気号》及び交流促進バス《ぐるぽん》の料金を一律100円、デマンドバス《カムイ号》を200円に設定し、わかりやすい運賃体系を構築している ・令和3年10月から、地域循環バス《元気号》、交流促進バス《ぐるぽん》、デマンドバス《カムイ号》を対象に、一定料金を支払うことで、一定期間は乗り放題が出来る「地域公共交通定期乗車券」を導入した ・令和4年5月から、町内の様々な交通手段で利用できる「地域公共交通共通回数券」を導入した	【方向性・施策の継続実施】 ・利用者の理解と満足度を保つため、継続的にシンプルな運賃体系を設定
方向性④：移動困難者における生活移動の支援策の検討	
施 策⑤ 後期高齢者等における移動困難者への生活支援サービスの継続検討 ・関係団体との連携による、継続的な生活支援サービスの検討を実施している	【方向性・施策の再整理】 ・高齢化に伴い、移動困難者への生活支援サービスの需要が高まっている現状を踏まえ、交通分野と福祉分野の住み分けが必要
方向性⑤：生活と連携した町内観光施設を周遊するバス路線の構築	
施 策⑥ 本町への来訪者における移動を支援する観光周遊バス路線の導入 ・令和2年度のウポポイ（民族共生象徴空間）の開業に合わせて、町民ならびに本町を訪れるかたの円滑な移動を支える交通手段として、交流促進バス《ぐるぽん》を導入	【方向性・施策の再整理】 ・本町への来訪者における移動を支援する観光周遊バスの導入が達成されたため、運行内容の改善等の観点で再整理が必要
方向性⑥：町民の広域的な生活行動を支援する苫小牧市及び登別市などの近隣市町への広域公共交通の維持	
施 策⑦ 本町と周辺市町を結ぶ地域間幹線系統の維持 ・町民の広域的な外出を確保し続けるために、胆振管内の市町や交通事業者等の関係者と連携を図りながら地域間幹線系統を維持している	【方向性・施策の継続実施】 ・町民の広域的な移動手段の確保に向けて、胆振管内の市町や交通事業者等の関係者と連携しながら、地域間幹線系統の維持を継続

5. 白老町地域公共交通計画の策定に向けた検証等

■ 網形成計画の目標の検証

・令和5年度の実績値で令和6年度の目標値を下回る項目が多いため、目標値等の見直しの検討が必要である。

目標及び目標値	現況値 (H28年度)	目標値 (R6年度)	実績値 (R5年度)	達成率
目標1：暮らしの利便性と快適性を確保する元気号の運行内容の見直し				
元気号における1日当たりの利用者数	56.4人/日	70.0人/日	44.9人/日	64.1%
目標2：町内迂回区間における定時定路線と予約運行型を組み合わせた新たな公共交通形態の見直し				
予約運行型の新たな公共交通形態の1日当たり利用者数	－	20.0人/日	56.0人/日	100%
目標3：バスマップの作成・配布や運賃施策などの利用促進策の実施				
元気号の年間利用者数	20,579人 (見込み)	25,500人	13,234人	51.9%
目標4：移動困難者における生活移動の支援策の検討				
福祉有償運送事業所数の維持	5事業所	5事業所	4事業所	80%
目標5：生活交通と連携した町内観光施設を周遊するバス路線の構築				
町内バス路線利用者の観光目的割合	0%	20% ※目標値（R2年度）	40%	100%
目標6：町民の広域的な生活行動を支援する苫小牧市及び登別市などの近隣市町への広域公共交通の維持				
地域間幹線系統の維持	2路線	2路線	1路線	50%

6. 白老町地域公共交通計画の構成(案)

■ 基本理念及び基本的な方向性①

・ 交通計画における基本理念及び基本的な方向性に紐付く、交通に係る施策は下記の内容を検討している。

基本理念
まちの魅力や特性を最大限に活かした、持続可能な公共交通システムの維持・発展
地域のつながりを強め、暮らしの質を高める

方向性①：地域循環バス「元気号」の暮らしの利便性・快適性の確保及び持続可能性の検証

- 継続** 【施策①】「元気号」の継続的な運行
⇒生活交通としての役割に即した運行内容の見直しにより、継続的な運行を図る
- 新規** 【施策②】「元気号」の利用実態・利用ニーズの把握
⇒乗降調査等により現況を把握し、将来的な運行形態を検証する

方向性②：デマンドバス「カムイ号」の運行内容の充実及び効率的な運行の実現

- 新規** 【施策③】「デマンドバス」の利用特性の把握
⇒予約状況や運行実績から区域毎の利用特性を把握し、運行内容の充実を図る
- 新規** 【施策④】運行管理効率化に向けた環境整備
⇒予約管理システム等の導入を検討する

方向性③：町内観光施設を周遊する交流促進バス「ぐるぼん」の効果的な運行

- 新規** 【施策⑤】「ぐるぼん」の利用実態・観光客の移動ニーズの把握
⇒観光入込客数等から観光客の動向を把握し、利用ニーズに合わせた運行内容の見直しを図る

6. 白老町地域公共交通計画の構成(案)

■ 基本理念及び基本的な方向性②

・ 交通計画における基本理念及び基本的な方向性に紐付く、利用促進や連携に係る施策は下記の内容を検討している。

基本理念
まちの魅力や特性を最大限に活かした、持続可能な公共交通システムの維持・発展
地域のつながりを強め、暮らしの質を高める

方向性④：ガイドブックの作成・配布や運賃施策などの利用促進策の実施

- 継続** 【施策⑥】 町内バス交通を網羅した利便性が高く使いやすいガイドブック等の更新・配布
⇒白老町公共交通ガイドブック及びリーフレットを継続的に更新・配布
- 新規** 【施策⑦】 利便性の向上及び利用者の定着化
⇒住民を対象とした乗り方教室・勉強会の開催を継続的に実施
⇒レンタサイクル「シラヴェロ」の利用者の掘り起こし
- 新規** 【施策⑧】 バス乗り場等を掲載した案内標示の設置
⇒白老駅前広場の支柱や足元に、バス乗り場に関するわかりやすい案内標示を設置
⇒デジタルサイネージを活用した、交通情報の発信
- 継続** 【施策⑨】 町内バス交通におけるわかりやすい運賃体系の構築
⇒シンプルでわかりやすい運賃体系の設定を継続
⇒「地域公共交通定期乗車券」や「地域公共交通共通回数券」の販売を継続

方向性⑤：他のまちづくり分野との連携

- 新規** 【施策⑩】 交通分野・福祉分野における役割の明確化
⇒交通分野は公共交通機関の運行を担当し、福祉分野は移動が困難な人々の支援を担当するという役割分担を徹底
⇒密な連携を図り、移動支援サービスが必要になる可能性がある住民の情報を福祉分野へ共有する等の取組を実施
- 新規** 【施策⑪】 地域交通の担い手不足の解消に向けた官民連携
⇒本町の地域資源を活用するなど、移住・定住支援策との連携により運転手確保を図る

方向性⑥：町民の広域的な生活行動を支援する苫小牧市及び登別市等近隣市への広域公共交通の維持

- 継続** 【施策⑫】 本町と周辺市町を結ぶ地域間幹線系統の維持
⇒胆振地域公共交通計画との連携及び整合を図り、継続的に地域間幹線系統の維持に努める

方向性⑦：地域の特性を活かした新たな移動手段（交通形態）の検証

- 新規** 【施策⑬】 各地域における交通課題の解決に向けた検証を実施
⇒移動ニーズを把握し、新たな移動手段（交通形態）導入の可能性を検証する

《令和6年度 白老町地域公共交通の乗り方教室・勉強会の開催報告》

資料 6

●実施目的

白老町では、利用者ニーズに即したシームレスな交通網の構築を目指し、これまでに複数回の地域公共交通網の見直しを実施しており、今後、更なる利便性向上及び利用者の定着・掘り起こしを行うことを目的に、令和5年度に引き続き、住民を対象とした公共交通乗り方教室及び勉強会を開催した。

●実施日時・実施場所・参加者

日時	会場	対象者	参加者
令和6年7月3日（水）9:00～11:30	白老町総合保健福祉センター (いきいき4・6)1F 交流センター	白老町民	25名

●募集方法

電話(先着30名様)

●プログラム

1. 開 会
2. 説明「ガイドブックを活用した公共交通の乗り方について」
3. 休 憩
4. 乗車体験
5. アンケート記入・個別相談



《1. 開会の様子》



《2. 説明の様子》



《4. アンケート記入の様子》



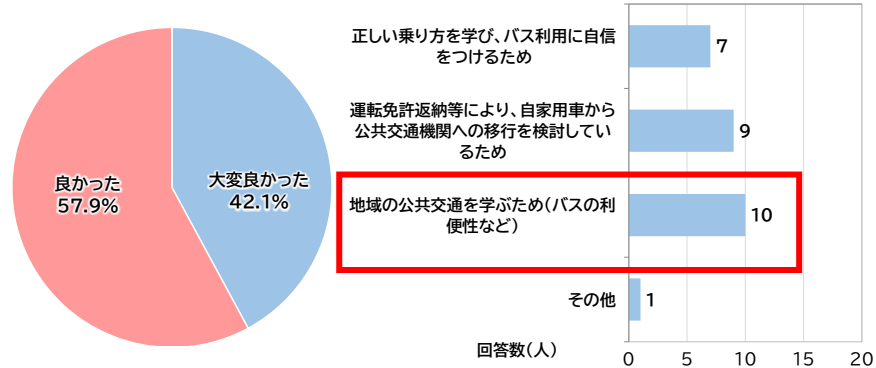
《3. 乗車体験の様子》

《令和6年度 白老町地域公共交通の乗り方教室・勉強会の開催報告》

● アンケート集約の概要

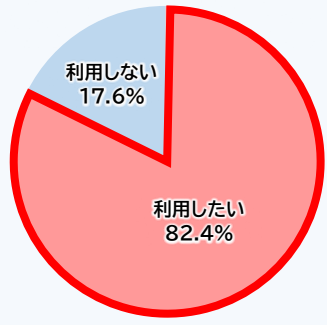
- ・ 乗り方教室・勉強会に参加した感想について、約6割が「良かった」、次いで、約4割が「大変良かった」と回答している。また、乗り方教室・勉強会の自由感想及び意見では、「知らない事が多かったので大変勉強になりました」や「勉強会を定期的に行ってほしいです」等の意見が挙げられている。
- ・ 乗り方教室・勉強会に参加したきっかけで最も多かった回答が、「地域の公共交通を学ぶため（バスの利便性など）」と回答している。
- ・ 乗り方教室・勉強会の自由感想及び意見では、「白老本町のみで虎杖浜方面の乗り方、使い方の説明がなく残念でした」や「行きと帰りのバス停は同じですか？と聞かれたので、そういうレベルの方のための講習などがあればいいのでは」との意見が挙げられている。

■ 今回の乗り方教室・勉強会に参加してみた (N=19) ■ 乗り方教室に参加したきっかけ

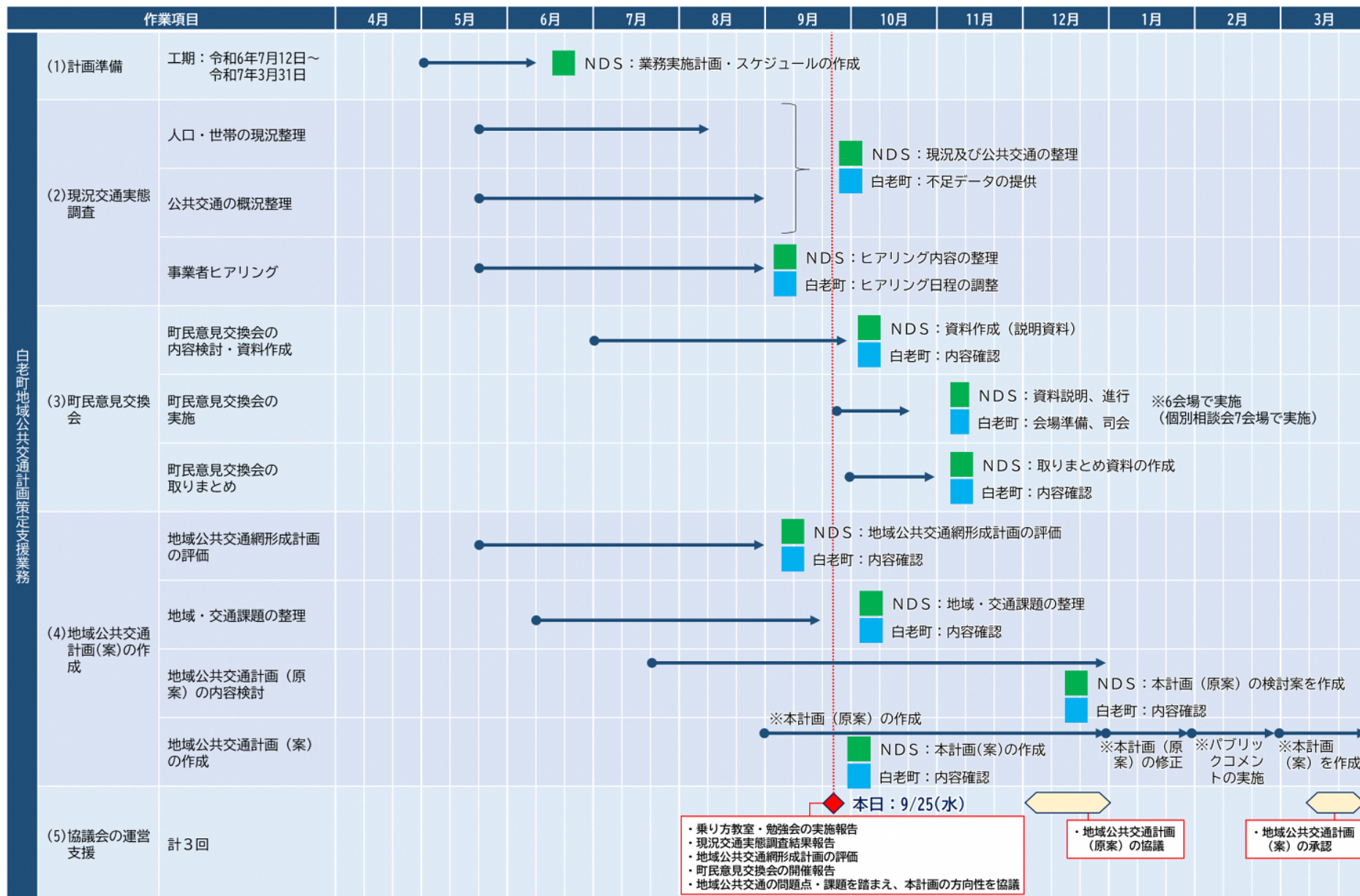


- ・ スマートフォン等の携帯端末で、公共交通の予約等を行えるサービスが運用された場合、このサービスを利用したいと思うかについて、約8割が「利用したい」と回答している。
- ・ 乗り方教室・勉強会の自由感想及び意見では、「カムイ号の予約をPCやスマホでできるようにしてほしい」との意見が挙げられている。

■ スマートフォン等の携帯端末で、公共交通の予約等を行えるサービスが運用された場合、このサービスを利用したいと思いますか。(N=17)



≪白老町地域公共交通計画策定の実施スケジュール≫



※議会との協議を12月と3月に予定

※ダイヤ改正については、R7.4.1改正に向け、12月中に協議会において改正案を提出予定